

浜松駅周辺 改良基本構想



北口



南口



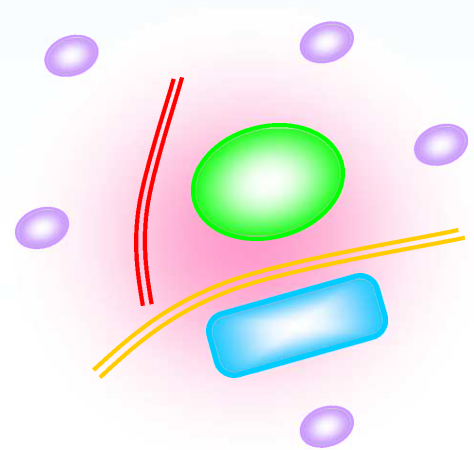
浜松市
HAMAMATSU CITY

目 次

はじめに	1
1. 目的、背景	2
2. 策定対象エリア	3
3. 検討の主題と視点	4
4. 浜松駅周辺改良基本構想及び施設改良計画の策定	4
I. 浜松駅周辺改良基本構想の策定	5
◆策定の内容、フロー	6
1. 都心及び駅前広場に関する基本的事項の整理	8
2. 駅前広場整備当時及びその後の改良時の「整備方針」の確認	15
3. 駅前広場の現況整理	17
4. 社会情勢、都心構造の変化の整理	19
5. 駅前広場の課題整理	24
6. 整備方針転換の方向性の確認	30
7. 将来の整備方針の提示	35
8. 整備方針を実践していく上での課題の抽出、解決方法の整理	40
9. 浜松駅周辺改良基本構想の策定	41
II. 施設改良計画の策定	43
◆策定の内容、フロー	44
1. 改良すべき施設の選定	45
2. 南口駅前広場の改良の方向性	46
3. 南口駅前広場の改良方法（素案）	47
4. 課題の抽出	51
5. 施設改良計画の策定	52
参考資料	58
1. 策定経過	59
2. 検討の概要	62
3. 過去の取り組み	64
4. 駅前広場の現況	69

はじめに

1. 目的、背景
2. 策定対象エリア
3. 検討の主題と視点
4. 浜松駅周辺改良基本構想及び施設改良計画の策定



1. 目的、背景

JR浜松駅の駅前広場は、バスターミナル、タクシープール、送迎レーン、地下駐車場といった交通結節点機能を備えており、日々、多くの市民や来訪者に利用されています。

また、交流、憩い、安全・安心等の空間として、多目的広場の「キタラ」、広場周辺の施設へ連絡する地下通路、地下通路が交差する位置には地下広場があり、モニュメント、水景施設も配置しています。さらに、エスカレーター、エレベーター等を設置し、誰もが使いやすい施設を目指しています。

以上のように昭和40年代以降の駅周辺整備やその後の数回の改良を経て、現在の駅前広場は、機能的な交通結節点機能、賑やかな交流機能等を備えています。

しかしながら、完成後約30～40年が経過したことにより、一部では、歩行者動線と自動車動線を分離するため歩行者が地下通路を利用すること、送迎レーンにおいては夕方等のピーク時に混雑が発生し、路上の駐停車の多発と併せて交差点の混雑が発生していること等について、さらなる利便性の向上や新たな交流促進等の機能付加が必要といった市民の声をいただいています。

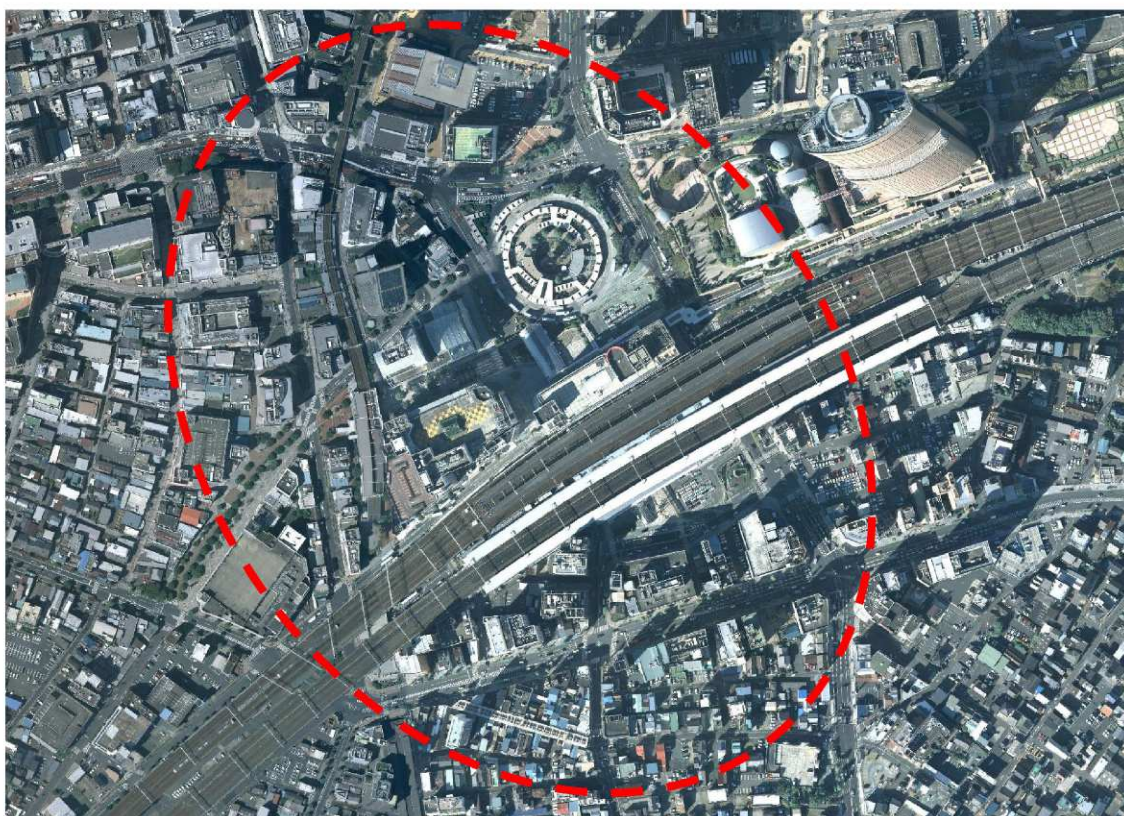
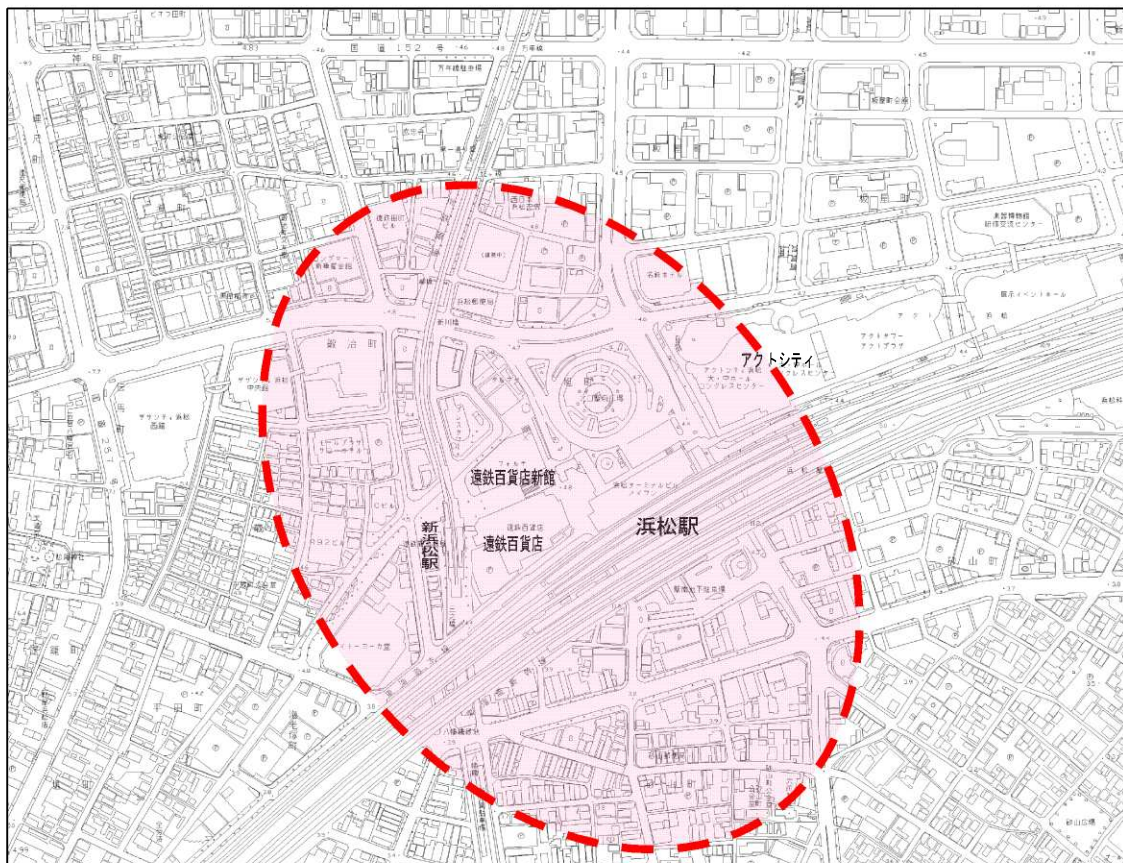
また、近年、全国的には、都市の玄関口となる駅前広場では、「人、公共交通機関、自転車、自動車を結節する機能」に加え、「人々の交流、にぎわい創出、商業活動の場または空間といった新たな機能」を付加するため、施設の改良が進められています。

さらに、過度な自動車利用により市街地が拡大した拡散型都市構造を見直し、居住、商学・学務、文化、交流等の都市機能が集積した集約型都市構造（徒歩や自転車で暮らせるコンパクトなまち）への転換を図る都市づくりを進める中で、必要な都市機能と公共サービスを集中させるとともに、公共交通を中心とした交通環境の向上により人々の移動や活動を支えることが求められています。

このため、JR浜松駅前の北口及び南口駅前広場について、今後必要とされる機能更新の方向性として「浜松駅周辺改良基本構想」、構想を見据えた上で施設改良の継続した取り組みとして「施設改良計画」を策定しました。

2. 策定対象エリア

おおむね下図の区域を「浜松駅周辺地区」として位置付けました。



3. 検討の主題と視点

本構想の策定にあたっては、駅前広場の「整備方針」を「検討の主題」に掲げ、検討を行いました。

また、この「整備方針」の検討を進める際の「検討の視点」を以下のとおりとしました。

①歩行者への対応

駅前広場内及び周辺における歩行者の回遊性の向上やにぎわい空間を創出するため、歩行空間のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化について、交通施設（バスターミナル、タクシープール、送迎レーン、駅南地下駐車場）の構造変更や再配置の検討を行ないました。

②自動車交通への対応

駅前広場へアクセスする自動車（バス、タクシー、送迎車、荷捌き車両）の円滑性の向上を図るため、交通流の処理方法や交通施設の運用変更の検討を行ないました。

③公共施設管理への対応

駅南地下駐車場の管理及び運營業務について、現在の利用状況、管理運営状況を精査し、効率性や利便性の向上へ向けた方策の検討を行ないました。

4. 浜松駅周辺改良基本構想及び施設改良計画の策定

3つの視点に基づく検討により、駅前広場が都心の中心となり、駅、バスターミナル、商業施設や商店街へ多くの人々を的確に誘導していくための「都心空間の改善」や「今後必要とされる機能更新の方向性」として「浜松駅周辺改良基本構想」を策定しました。

そして、構想に基づく施設改良の継続した取り組みとして「施設改良計画」を策定しました。